

【全体概要】

曾於地域の花き生産は、需要低迷に加え高齢化や労力不足が課題となり、減少傾向にある。ソリダゴは鹿児島県の気象に適した品目であり、作型や生産方法が多彩であることや(植付時期が限定されない・据え置き栽培が可能)、キク生産と比較して生産費や薬剤散布労力が少ないという特徴がある。このため、ソリダゴを新規品目、既存品目の補完品目として導入できるよう、生産体系の確立や地域に適した技術向上を図り、生産農家の所得安定と、新たな産地を形成する。

新品種・新技術等の概要

- 品種名 ソリダゴ「タラ」
 - 用途 花束やフラワーアレンジメント等の添え花
 - 特性
 - 据え置き栽培が可能 → ①省力的
 - 低温管理が可能 → ②低コスト
 - 鹿児島県が主に生産 → ③単価が比較的安定
- キク農家が既存の施設を活用した栽培可**



ソリダゴ

主な取組内容

- 曾於版栽培マニュアル作成
 - ・栽培特性把握
 - ・冬季ボリュームアップに向けた低コストでの変温管理技術の確立
 - ・日持ち性調査
- 安定出荷支援
 - ・他品目との輪作体系の検討(モデル農家1戸)
 - ・栽培状況の情報共システム構築
- 他産地・流通情報収集
 - ・実需者が求める品質の追求
 - ・市場との意見交換

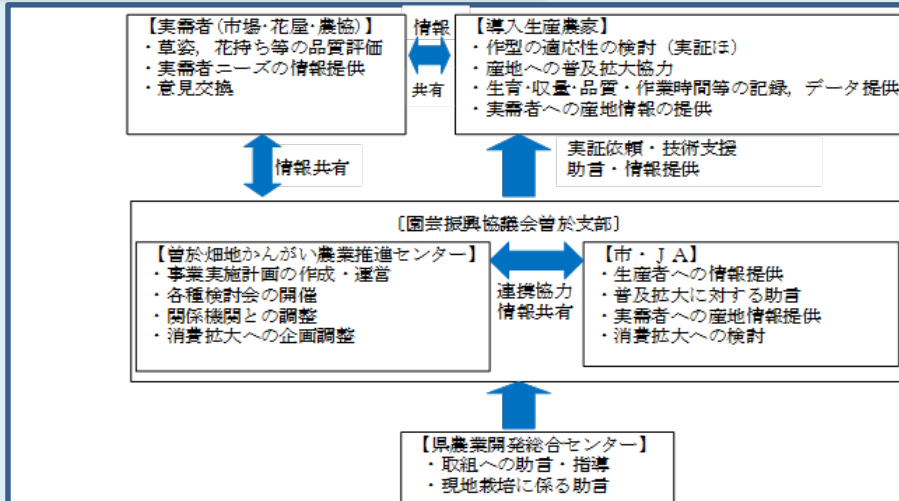


現地研修会



市場との意見交換

実施体制図



課題と今後の対応

1年目(実績)

- 栽培面積の拡大(H30:51a → R元:124a)
- 曾於版栽培マニュアルの作成
- ソリダゴ生産者組織の設立と情報共有システムの運用開始(課題)

2年目(計画)

- 高品質・安定出荷体系の確立
- 他品目との複合経営に向けた省力化
- マニュアルに基づいた栽培指導
- 省力定植技術の検討(ひっぱりくん)
- 他生産者や市場への情報提供による新産地定着化